

# 信 愛 望

山形学院だより

第6号(46号)

2020. 11. 12

教頭・佐藤圭一



山形学院高等学校

## スポーツウィーク！ 体育祭・球技大会を開催！

台風の影響を受けて曇りで時折小雨となった10月12日(月)、あかねヶ丘陸上競技場にて「体育祭」が行われました。コロナ禍で体育祭も学院祭に続いて保護者の皆様の参加を見送ることとなりました。天候に左右される体育祭で青空は見られなかったのですが、スポーツの秋を満喫し生徒の皆さんの笑顔を見ることができました。クラスマッチ形式・科対抗形式で行われ、団結力とチーム(科)ワークで頑張りました。クラス対抗は**優勝・3年3組**、科対抗は**優勝・1年普通科**でした。



10月13日(火)～15日(木)に県体育館・山形市総合スポーツセンターにおいて、「クラスマッチ球技大会」が行われました。今年は時間短縮のためバスケットボール、ドッジボールは中止となり、13日～14日は男女バレーボール、15日は男女混合バドミントンを行いました。クラスTシャツを着て応援も盛り上がり、熱い戦いが繰り広げられました。各学年1～2位のみ紹介します。担任の先生の応援も加わり熱戦となりました。

### 男女混合バドミントン

1位 3年4組 2位 3年2組  
1位 2年8組 2位 2年7組  
1位 1年5組 2位 1年7組

### 男・女バレーボール

1位(男) 3年2組/(女) 3年3組 2位(男) 3年4組/(女) 3年7組  
1位(男) 2年4組/(女) 2年10組 2位(男) 2年3組/(女) 2年7組  
1位(男) 1年5組/(女) 1年9組 2位(男) 1年3組/(女) 1年3組



### 〈学院のひとコマ①〉

### 放送部が東北大会出場決める！

10月30日(金)に県高校放送コンテスト新人大会が遊学館で行われ、放送部4名は「テレビキャンペーン部門」に「夢のフォークダンス」でエントリーし、第4位に入賞しました。“夢で憧れの先輩とフォークダンスをすることになった〇〇さん。コロナ禍でソーシャルディスタンスを保つことになり今年は手をつなげなかった…”東北大会は2月に今年はデータ審査形式で行われます。

# 東北大会・県高校新人大会・地区高校新人大会 (入賞・結果)

- ・東北新人大会〔岩手県：10/2～4〕
  - ◇ 陸上部 ⇒ 八種競技 第5位 阿部奨悟(2-3) 出場 (長沼飛龍、江口真大)
- ・東北私学選抜ソフトボール大会〔福島県白河市 11/6～8〕
  - ◇ ソフトボール部 ⇒ 1回戦 本校 4-6 常盤木学園(宮城)
- ・県新人大会〔10/10～11、11/7～8〕
  - ◇ ソフトボール部 ⇒ ベスト8
  - ◇ 女子卓球部 ⇒ 学校対抗 第1位 **東北大会出場** (2/5～7 「山形県総合運動公園」)  
個人シングルス 第1位 延沢 葵(2-6)、2位 佐藤理枝(1-4)  
ベスト8 菅井愛未(2-2)、宮地麗愛(1-3)
  - ◇ 女子バドミントン部 ⇒ 個人シングルス ベスト8 佐藤舞奈(2-2)、阿部 凜(2-3)
- ・地区新人大会〔11/7～8〕
  - ◇ 男子バスケットボール部 ⇒ 第1位 **決勝** [本校 103-74 日大山形]
  - ◇ 女子バレーボール部 ⇒ 第3位
  - ◇ 女子バスケットボール部 ⇒ 県大会出場
  - ◇ 男子バレーボール部 ⇒ 県大会出場

**女子卓球部 14年ぶり 4回目の優勝!!**  
個人シングルスも優勝、準優勝

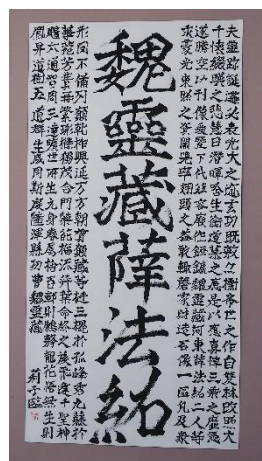
**男子バスケットボール部が初優勝!!**

## 第44回 県高校総合文化祭・最北大会



努力賞「そこに空があるから」  
作:渋谷結仁

県高校総合文化祭・最北大会が10月9日(金)～11日(日)に東根市民体育館1Fホールを会場に行われました。ソーシャルディスタンスを取りながら会場のレイアウトを行うという例年にない状況でしたが、日頃研鑽を積んでいる文化活動の優れた成果を発表しました。テーマは『最上峡の錦繡のごとく織り成せ 文化の綾』本校からは華道部・書道部・美術部が出場しました。開会式後に行われた弁論の部で阿部紫苑さん(2-1)が、演題「八万二千九百二という数」を堂々と発



「魏靈藏薛法紹造像記」作:庄司りこ

表しました。美術部は5人が出品し、渋谷結仁さん(2-5)が作品「そこに空があるから」で努力賞を頂きました。書道部は5人が大作を出品しました。華道部の4名は、「竜田川」というテーマで\*「ちはやふる 神代も聞かず 竜田川からくれなゐに 水くくるとは」という百人一首在原業平の歌を見立てた中作品を生けこみました。



華道部の皆さん 作品:「竜田川」

\*二条の妃(高子)とかつて恋愛関係にあった作者(在原業平)が、昔の恋を思い起こさせる為により大げさに詠んだ激しい恋の歌と言われています。



〈学院のひとコマ②〉

## 36チーム ごみ拾い競う

～ボランティアクラブが「スポGOMI甲子園」県大会に参加しました～



全国の高校生がごみ拾いを競い合う「スポGOMI甲子園」の県大会が18日、山形市の馬見ヶ崎川河川敷で行われ、県内の36チームが出場しました。3人一組のチームで制限時間の1時間に拾ったごみの種類や重さをポイント交換して競う競技。ごみ袋とごみはさみを手に、双月橋の上下流に向けて出発。(途中、略)  
山形学院高1年の野口仁実さん、大沼玲奈さん、伊藤妃那乃さんは「海の生物のためにも河川のごみを減らすことが大事だと思う。頑張って集めたい」と話していた。(以下、略)「山形新聞 2020.10.19 より抜粋引用」